

第1回 全国高等学校英語スピーチコンテスト実施要項

1. 趣旨 わが国の高校生の英語による表現力を伸ばし、英語学習に対する関心を高めるとともに、国際的視野を持つ人材の育成に資する。
2. 主催 全国英語教育研究団体連合会
3. 後援 文部科学省、都道府県教育委員会、各国大使館（いずれも申請予定）
4. 大会運営 全国英語教育研究団体連合会
5. 実施概要
 - (1) 都道府県大会（以下、県大会とする）を実施し、県大会で選ばれた代表がブロック大会に臨み、ブロック大会で選ばれた代表が東京での全国大会に臨む。
 - (2) 全国大会は、ブロック大会の成績優秀者（各ブロック2名以内）により行う。
 - (3) ブロック大会は、県大会の成績優秀者により行う。
ブロックは次の9つとする。
北海道、東北、関東甲信越、東京、東海北陸、近畿、中国、四国、九州。
 - (4) 県大会の成績優秀者は、各都道府県の高等学校英語教育研究団体が主体的に選考する。
6. 期日 2008年2月3日（日）
(時程予定) 9:15 開会式
9:30 スピーチ開始
12:15 スピーチ終了
(昼食休憩)
13:30 閉会式（賞状授与）
7. 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 小ホール
8. 参加資格
わが国の高等学校および高等専門学校（1～3学年）などの学校に在学し、全英連の各ブロックにおける選考会においてブロック代表として選出された生徒とする。（1ブロック2名以内とする。）
9. 論題
 - (1) 自由（未発表のオリジナル原稿による **prepared speech**）。
ただし、ブロック大会、全国大会を通じて、スピーチの内容に大きな改変を加えてはいけない。
 - (2) ブロック代表者は、指定の期日までにスピーチ原稿（A4判、縦置き）を大会実行委員会に提出する。
10. 制限時間 7分以内
11. 審査基準

内容	Contents	50点
英語	English	30点
態度	Delivery	20点
合計		100点

Question & Answer は実施しない。
12. 審査員
日本人の大学教授 2人（審査委員長を含む）
ネイティブ・スピーカー 2人（国籍が異なる）
教育界以外の日本人 1人
合計 5人

13. 全国大会への参加費用
代表生徒の往復旅費・宿泊費（1泊分）は大会実行委員会が全額負担する。
14. 引率
参加生徒は必ず教員が引率する。
引率教員の旅費・宿泊費は勤務校またはブロックで負担する。
15. 賞
1位から6位まで表彰する。

[附則]

1. 参加資格
参加資格の項にある学校に在籍する外国籍の生徒も参加できる。ただし、留学生は参加できない。
米軍基地内の学校のように、外国の学校に在籍する生徒は参加できない。
2. 論題
大きな変化を加えないとは、字句の推敲程度にとどめることを意味する。
3. 制限時間
(1) 現在5分で実施している県・ブロックもあり、一方7分で実施している県・ブロックもあるので2分の時間差は考慮しない。
(5分が適当か7分が適当かは大会実施後の検討課題とする。)
(2) 計時は、生徒の第1声から開始する。
(3) 6分45秒の時点で予鈴を1回鳴らす。
(4) 7分を超えると鐘を連打し、失格とする。
4. 審査基準
(1) 内容・英語・態度の観点を踏まえ、スピーチを総合的に審査する。
(2) 得点合計の高い者から順位をつける。
5. 宿泊施設
(1) 国立オリンピック記念青少年総合センター内の宿泊施設を利用する。
(2) 代表生徒は全員A棟に宿泊する。
(3) 引率教員は希望によりD棟に宿泊できる。
6. 大会運営
全英連本部高校部会のなかに第2事業部をつくり、全国スピーチコンテストを運営する。
7. その他
(1) 発表者はマイクを使用する。

[問い合わせ先]

スピーチコンテストについてのお問合せは下記までお願いいたします。

2007年度全英連高校部会第2事業部長

北見英二（東京都立富士高校教諭）

〒164-0013 東京都中野区弥生町 5-21-1

TEL: 03-3382-0601

FAX: 03-3382-8224